

「元気いっぱい・笑顔いっぱい」



特別支援教育統括コーディネーター 加賀谷 勝

「いよいよ新学期がスタート！」

1 読売新聞に掲載されている植田まさしさんの4コマ漫画『コボちゃん』より タイトル「通知表」

1コマ目

学校から通知表をもらってきたコボちゃんは、最初にママに見せた。あまりよい成績でないらしく、眉間にシワを寄せて「ウン」と唸った。

2コマ目

今度はおじいちゃんが通知表を見て、不満そうな表情で「フーム」と唸った。

3コマ目

会社から帰ってきたパパが、ネクタイを外しながら通知表を見て、困ったような顔で「次、頑張るんだな」と言った。

4コマ目

そして、最後に通知表を見ているおばあちゃん、満面の笑みを浮かべて「えらいね！一日も休んでないのね」とほめた。それを聞いたコボちゃんは、おばあちゃんの背中に抱きつきながら、「おばあちゃんって、僕のオアシスだ！」と叫んだ。

ママ、おじいちゃん、パパの3人は、よくない成績に注目して眉間にシワを寄せたり、不満そうな表情を見せたりしました。しかし、おばあちゃんだけは、よいところに注目して笑顔でほめました。注目には、行動を変えるパワーがあります。特にほめる・認める・励ます・笑顔で応える・感謝するなどの肯定的な注目は、よい行動を増やすことにつながります。新学期、子どもは新しい環境に慣れるまで不安の連続です。子どものよいところに注目し、笑顔で優しい言葉を掛けて「心のオアシス」になってください。

2 Q:「あなたの（担当している）子どもは、どんなお子さんですか？」と聞かれたら、どのように答えますか。

髪が長くて背が高いです（身体的特徴）、そわそわして落ち着きがないです（行動の特徴）、誰に対しても優しいです（心理的な特徴）などと答えると思います。アタッチメント（愛着）が安定している子どもの養育者は、外見の特徴よりも性格や心理面を表す特徴を説明します。また、子どもを肯定的に見ている養育者は、子どもの苦手さよりも得意な部分や強みを説明します。日ごろから、子どもをどんな存在として捉えているか、子どものどんな様子に目を向けているかという見方・考え方が、この質問の答えに反映されます。

子どもは不安になると、強くて優しい人にくっついて、「安心だ、安全だ」という気持ちになります。子どもはいつでもくっつくと確信がもてると大冒険ができます。大人に大切にされてきた子どもは、やがて自分自身を大切にできるようになります。新しい環境への適応が求められる新学期、子どもに「今日もあなたが大切だよ」と伝えましょう。



とれたて直送便



「この学校（園）に入ってよかった！」

WBC日本代表に選出された日本ハム・伊藤大海投手が、準々決勝のベネズエラ戦で3ランを浴びて敗戦投手になり、SNSで誹謗中傷を浴びた。「こういう結果になった以上、誰かしらこういう立場になっていた。それが僕でよかったかなと思います」と気丈に語った。その背景には、新庄監督からの温かい励ましのメッセージや北海道に戻ったとき、空港で出迎えてくれた球団スタッフの優しい気遣いがあった。「見てくれていることは嬉しいという安心感があり、日本ハムに入ってよかった」と頷いた。子どもたちが「この学校（園）に入ってよかった」と思えるように、いつも「あなたを見ています」というサインを送ってほしい。